



廣中 清介  
無派不撓クラブ



## 田原市街地のまちづくりを今後どう進めるのか

田原市街地活性化協議会と連携し、市民との協働で取り組んでいく

### 田原市街地活性化の取り組みについて

**問** 「田原市中心市街地活性化基本計画」が、5年間の計画期間を終了したが、どのように総括しているか。

**答** ハード事業は19事業中14事業が完了、ソフト事業は20事業中19事業が実施・継続中となっており、計画をおおむね予定通り進めることができ、活性化が図られたものと認識している。

**問** 基本計画の終了後は、「田原市街地まちづくりビジョン」に沿って、効果的なソフト事業を展開する必要があると考えるが、目標達成への取り組みは。

**答** ハード事業で整備してきた施設や機能を生かし、住民や民間事業者など地域と連携した取り組みが重要と考える。シンボルロード花いっぱい事業や、まちなか賑わいイベント開催事業、幸せの四つ葉プロジェクト事業、空き家・空き地バンク活性化事業、産業人材育成事業や出店促進事業などのソフト事業に、継続して取り組んでいく必要があると考えている。

**問** 「田原市中心市街地活性化協議会」の役目を引き継ぐ新たな組織が必要ではないか。

**答** 今後は「田原市街地活性化協議会」に再編し、田原市街地まちづくりビジョン等に記載された事業の実施に向けて総合調整役を担っていく。

**問** 「田原市街地まちづくりビジョン」の推進について、今後どのようにまちづくりを進めていくのか。

**答** まちづくりの活動を、88ヘクタールの中心市街地から、これを含む360ヘクタールの田原市街地へと広げていけるよう、田原市街地活性化協議会と連携しながら、市民と協働で取り組んでいきたい。



**問**

地域管理の公園遊具について、点検結果に基づき、計画的な予防修繕を行えることが望ましいと思うが、市の考えは。

**答** 今後は、点検結果の周知とともに、地域の管理者が公園遊具の計画的な予防修繕を行えるよう市から技術的な助言を行い、引き続き地域コミュニティ施設等整備補助金を活用した対応ができるように支援を行っていく。

